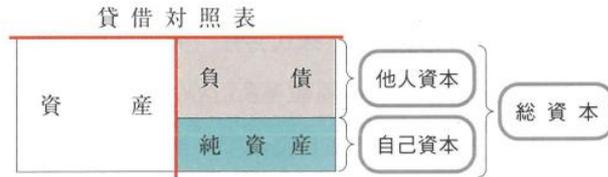


[1] 負債の意味

負債は、一般に企業が第三者に対して負っている債務をいうが、会計上は、損益計算を適切におこなうための未払費用や前受収益、さらに負債の性質をもつ引当金も負債に含まれる。

企業が出資者から調達した分を**自己資本**というのに対して、負債は、企業が第三者から調達した資金の源泉をあわらしていることから、**他人資本**とも呼ばれる。



[2] 負債の分類

負債は、資産と同様に**営業循環基準**と**1年基準**によって流動負債と固定負債に分類される。

1. 営業循環基準

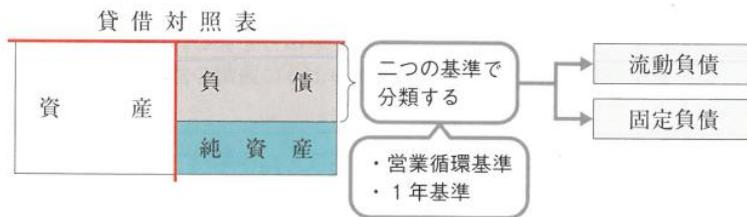
企業の通常の営業活動の循環過程で生じた負債を流動負債に分類する基準を**営業循環基準**という。

この基準によれば、取引先との営業取引によって生じた支払手形や買掛金などは流動負債に分類される。

2. 1年基準

営業循環基準が適用されない負債について、決算日の翌日から1年以内に支払期限が到来する負債を流動負債とし、それ以外の負債を固定負債に分類する基準を**1年基準**という。

この基準によれば、1年以内に期限が到来する借入金や預り金などは流動負債とし、1年を超えるものは固定負債に分類される。



【負債の分類】

分 類	内 容	勘定科目例
流 動 負 債	営業循環基準や1年基準により短期間で支払期限などが到来する負債。	支払手形・買掛金・未払金・前受金・短期借入金・保証債務・未払費用・前受収益・預り金・未払法人税等・修繕引当金・役員賞与引当金など
固 定 負 債	決算日の翌日から1年を超えて支払期限が到来する負債。	社債・長期借入金・退職給付引当金など

負債は、営業循環基準と1年基準によって、流動負債と固定負債に分けられるよ。



最終ページに参考映像資料（スライド）の URL と QR コードを掲載しています。確認してください。

[3] 流動負債

流動負債については、具体的には次のようなものがある。

【流動負債の種類】

支払手形	仕入先との営業取引によって生じた手形債務を支払手形という。同じ手形債務であっても、借り入れにともなって生じたものは、手形借入金または短期借入金として処理する。
買掛金と未払金	買掛金は、商品・原材料などの仕入代金の未払分のほか、未払加工料のような営業取引によって生じた未払分を含む。これに対して、固定資産や有価証券などの買入れのように通常の営業取引以外の取引によって生じた債務を未払金という。
前受金	主として、商品の販売などにあたって、代金の一部または全部を内金や手付金として前もって得意先から受け取った場合、その前受額を前受金 ^① という。
短期借入金	決算日の翌日から1年以内に支払期限が到来する借入金を短期借入金といい、手形借入金や当座借越などはこれに含まれる。短期借入金のうち、株主・役員・従業員、あるいは親会社または子会社からのものは、貸借対照表には役員短期借入金・親会社短期借入金などのように、それぞれの内容を明示する科目で表示するか、注記する ^② 。
保証債務	保証債務は、裏書譲渡や割り引きした手形が、回収不能によって不渡りとなった場合に、支払人にかわって手形代金の支払いをしなければならない二次的責任をいう。
未払費用	未払地代・未払家賃などのように、一定の契約にしたがい、継続して役務の提供を受ける場合、すでに提供された役務に対する未払額を未払費用 ^③ という。
前受収益	前受地代・前受家賃などのように、一定の契約にしたがい、継続して役務を提供する場合、まだ提供していない役務に対する前受額を前受収益 ^④ という。
預り金	営業上の諸預り金、預り保証金などのような一時的な預り金をいう。ただし、株主・役員・従業員、あるいは親会社または子会社からの預り金などは、短期借入金と同様に処理する。
未払法人税等	決算の結果にもとづいて計算された、その年度の法人税額・住民税額・事業税額の合計額から、中間申告による納付額を差し引いた未納付額を未払法人税等という。
修繕引当金	次期に支出される修繕費を当期に見積もって計上する引当金をいう。
役員賞与引当金	当期に発生した役員賞与を次期に支出する場合に、支出額を見積もって計上する引当金をいう。

例題 決算にあたり、当期の法人税額¥600,000 住民税額¥64,500 事業税額¥45,000 を計上した。ただし、中間申告で法人税・住民税及び事業税の合計額¥420,000 を納付している。[決算整理仕訳]

- ①法人税額・住民税額・事業税額の合計額を**法人税等勘定[その他の勘定]**の借方に記入する。
- ②中間申告で納付した額を**仮払法人税等勘定[資産の勘定]**の貸方に記入する。
- ③法人税等勘定の金額と仮払法人税等勘定との差額を**未払法人税等勘定[負債の勘定]**の貸方に記入する。

--	--

[4] 固定負債

2. 長期借入金

返済期限が決算日の翌日から 1 年を超えて到来する借入金を**長期借入金**といい、**長期借入金勘定[固定負債の勘定]**で処理する。なお、1 年以内に期限が到来する借入金は**短期借入金**といい、**短期借入金勘定[流動負債の勘定]**で処理する。

例題 決算にあたって、長期借入金¥5,000,000 のうち¥3,200,000 は決算日の翌日から 3 か月後に返済日が到来することがわかった。

--	--

14-7 次の取引の仕訳を示しなさい。

(1)決算にさいし、借入金¥700,000のうち¥300,000は返済期限が決算日の翌日から 1 年を超えて到来することがわかった。

--	--

(2)決算にさいし、長期借入金¥500,000のうち¥200,000は返済期限が 1 年以内に到来することがわかった。

--	--

[5] 引当金

引当金は、適正な期間損益をおこなうために、当期に負担させることが適当な費用または損失の見積額を計上する場合に設定されるものである。

引当金には、すでに学んだ貸倒引当金のように評価勘定の性質をもつ**評価性引当金**と、修繕引当金・退職給付引当金・特別修繕引当金のように将来の支払いをとまなう負債の性質をもつ**負債性引当金**がある。

負債性引当金は、1 年基準によって修繕引当金は流動負債の部に、退職給付引当金や特別修繕引当金は固定資産の部に記載される。

【引当金の種類】

評価性引当金	資産に対する評価勘定としての性質をもつ引当金。 (資産の部に記載する)	貸倒引当金	売上債権から控除
負債性引当金	負債の性質をもつ引当金。 (負債の部に記載する)	修繕引当金	流動負債
		役員賞与引当金	流動負債
		退職給付引当金	固定負債

1. 修繕引当金

企業が所有する建物や機械装置などについて、毎年行われる通常の修繕が資金の都合などによりおこなわれなかった場合、その費用は当期に負担させるべきであることから、決算時に当期の費用として計上する。このときの貸方科目が**修繕引当金[流動負債]**である。

なお、定期的に大規模な修繕が行われる大型船舶や溶鉱炉などに対する修繕費は、毎期に平均して負担させるために**特別修繕引当金勘定[固定負債の勘定]**で処理する。

最終ページに参考映像資料（スライド）の URL と QR コードを掲載しています。確認してください。

① 決算のとき

当期に負担させるべき金額を**修繕費勘定[費用の勘定]**の借方と**修繕引当金勘定[流動負債の勘定]**の貸方に記入する。

例題 決算にさいし、当期に負担すべき修繕費を¥670,000 と見積もり修繕引当を計上した。

--	--

② 支払いのとき

修繕を行ったときは、その支出額を**修繕引当金勘定の借方**に記入して修繕引当金を取り崩す。ただし、支出額のうち当期負担分があれば修繕引当金を取り崩さず、**修繕費勘定[費用の勘定]**の借方に記入して当期の費用として計上する。

例題 建物の修繕を行い、その費用¥800,000 を現金で支払った。なお、修繕引当金の残高が¥670,000 ある。

--	--

2. 特別修繕引当金

特別修繕引当金は船舶や溶鉱炉など、数年ごとに定期的な大修繕を要する特定の資産に対する修繕費を見積もって引き当てたもので、修繕費を毎期に平均して負担させるために設けられる。このときの**貸方科目が特別修繕引当金[固定負債]**である。次期以降に修繕がおこなわれたときは、**特別修繕引当金勘定[固定負債の勘定]**の借方に記入する。

① 決算のとき

当期に負担させるべき金額を**修繕費勘定[費用の勘定]**の借方と**特別修繕引当金勘定[固定負債の勘定]**の貸方に記入する。

例題 4年後におこなわれる船舶の大修繕の費用を¥20,000,000 と見積もり、決算にさいし、特別修繕引当金の当期負担分¥5,000,000 を計上した。

--	--

② 支払いのとき

大修繕を行ったときは、その支出額を**特別修繕引当金勘定の借方**に記入して特別修繕引当金を取り崩す。ただし、支出額のうち当期負担分があれば修繕引当金を取り崩さず、**修繕費勘定[費用の勘定]**の借方に記入して当期の費用として計上する。

例題 船舶の大修繕をおこない、修繕費¥21,000,000 を同額の小切手を振り出して支払った。ただし、特別修繕引当金の残高が¥20,000,000 ある。

--	--

第5章 社債

no1

4. 社債の償還

- ①満期償還・・償還期に、全額を一時に額面金額で償還する。
- ②抽選償還・・償還期前に抽選によって当選した番号の社債を額面金額で償還する。
- ③買入償還・・償還期前に、証券市場から市場価格によって買い入れる形で償還する。

① 満期償還

社債の償還期日に、額面金額で償還する方法

※償還する社債の**額面金額**を**社債勘定の借方**に記入する。

例題 額面¥45,000,000の社債を償還日に同額の減債用の定期預金で償還した。

--	--

例題 額面¥10,000,000の社債を、小切手を振り出して償還した。なお、減債積立金¥10,000,000を取り崩した。

--	--

例題 社債額面¥25,000,000を償還期日に同額の減債用金銭信託によって償還した。なお、減債積立金¥25,000,000を取り崩した。

--	--

② 抽選償還

償還期前に抽選によって当選した番号の社債を額面金額で償還する。

(1) 償還する社債が決定したとき

償還する額面金額を**社債勘定の借方**と**未払社債勘定[流動負債]の貸方**に記入する。

例題 すでに発行してある社債¥180,000,000のうち3分の1を、抽選によって償還することを決定した。

--	--

(2) 抽選償還したとき

償還した額面金額を**未払社債勘定[流動負債]の借方**に記入する。

例題 大阪産業株式会社は発行している社債のうち、額面¥30,000,000を抽選によって償還することに決定していたが、本日、減債用の金銭信託から支払った。なお、かねてから積み立ててある減債積立金¥30,000,000を取り崩した。

--	--

最終ページに参考映像資料（スライド）の URL と QR コードを掲載しています。確認してください。

③ 買入償還

償還期前に、証券市場から市場価格によって買い入れる形で償還する。

※買入償還した社債の帳簿価額を社債勘定の借方に記入する。

※買入償還した金額を当座預金勘定の貸方に記入する。

※買入償還した社債の帳簿価額と払込金額との差額を社債償還益(損)勘定で処理する。

帳簿価額 > 払込金額・・・社債償還益勘定[収益の勘定]の貸方に記入する。

帳簿価額 < 払込金額・・・社債償還損勘定[費用の勘定]の借方に記入する。

例題 神奈川物産株式会社(決算年1回)は、次の条件で第18期初頭に発行した社債のうち、額面¥30,000,000を第25期初頭に@¥98.60で買入償還し、減債用の定期預金から支払った。ただし、社債は償却原価法(定額法)によって評価している。

発行条件 額面総額¥80,000,000 払込金額@¥97.80 償還期限10年 利率年1.4%

①買入償還した社債の帳簿価額を計算する。

1. 償還した社債の額面金額[¥]

2. 償還した社債に対する払込金額[¥]

償還した社債の額面金額[¥] × 払込金額[@¥] ÷ ¥100

3. 額面金額と払込金額との差額[¥]

額面金額[¥] - 払込金額[¥]

4. 償還期限[年]

5. 毎期の償却額[¥]

額面金額と払込金額との差額[¥] ÷ 償還期限[年]

6. 買入償還時までの償却年数[年] 18期 19期 20期 21期 22期 23期 24期

7. 償還時までの増額分[¥]

毎期の償却額[¥] × 買入償還時までの償却年数[年]

8. 買入償還した社債の帳簿価額[¥]

償還社債払込金額[¥] + 償還時までの増額分[¥]

※買入償還した社債の帳簿価額を社債勘定の借方に記入する。

②買入償還した金額[¥]

償還した社債の額面金額[¥] × 買入金額[@¥] ÷ ¥100

※買入償還した金額を減債用定期預金勘定の貸方に記入する。

③社債償還益[¥]

帳簿価額[¥] - 買入償還した金額[¥]

※社債償還益を社債償還益勘定の貸方に記入する。

Blank rectangular box for calculation.

Table with 2 columns and 10 rows, containing dashed lines for calculation.

最終ページに参考映像資料（スライド）の URL と QR コードを掲載しています。確認してください。

全商第 74 回 愛媛物産株式会社は、次の条件で発行した社債のうち、額面¥40,000,000を発行後6年目の初頭に@¥98.90で買入償還し、減債用の定期預金から支払った。ただし、社債は償却原価法(定額法)によって評価している。

発行条件 額面総額¥70,000,000 払込金額@¥97.20 償還期限8年 利率年1.2%

--	--

全商第 72 回 埼玉商事株式会社は、次の条件で発行した社債のうち、額面¥35,000,000を発行後5年目の初頭に@¥99.70で買入償還し、減債用の定期預金から支払った。ただし、社債は償却原価法(定額法)によって評価している。

発行条件 額面総額¥70,000,000 払込金額@¥98.40 償還期限5年 利率年1.8%

--	--

14-3 次の取引の仕訳を示しなさい。

鳥取物産株式会社は、下記の条件で発行した社債¥200,000,000のうち¥50,000,000を、発行後8年目の初頭に額面¥100につき¥99で買入償還し、小切手を振り出して支払った。ただし、社債は償却原価法(定額法)によって評価している。

発行条件 額面総額 ¥200,000,000 払込金額 額面¥100につき¥98.50
償還期限 10年 利率 年3.5%

--	--

14-11 次の取引の仕訳を示しなさい。

例 (1)神奈川物産株式会社(決算年1回)は、次の条件で第18期初頭に発行した社債のうち、額面¥30,000,000を第25期初頭に額面¥100につき¥98.60で買入償還し、減債用の定期預金から支払った。ただし、社債は償却原価法(定額法)によって評価している。(第77回一部修正)

発行条件 額面総額 ¥80,000,000 払込金額 額面¥100につき¥97.80
償還期限 10年 利率 年1.4%

--	--

最終ページに参考映像資料（スライド）の URL と QR コードを掲載しています。確認してください。

令和元年 9 月 11 日(水)

(1) 他者を思いやるやさしい心、時に自らを犠牲にしてでも他のために尽くそうと願う心を何というか？

(2) 沖縄物産株式会社は、次の条件で発行した社債のうち、額面¥40,000,000 を発行後 6 年目の初頭に@¥98.90 で買入償還し、減債用の定期預金から支払った。ただし、社債は償却原価法(定額法)によって評価している。

発行条件 額面総額¥70,000,000 払込金額@¥97.20 償還期限 8 年 利率年 1.2%

--	--

QR コードまたは URL から動画を再生してください。

※ Wi-Fi 環境のある生徒はスマートフォンで QR コードをスキャンして閲覧できます。

URL からもインターネット上で閲覧することができます。

データ通信料が気になる生徒は URL から！

<https://youtu.be/se1ls23FbLE>

